

(別紙1)

平成29年度～平成33年度 社会福祉法人小笠原村社会福祉協議会
社会福祉充実計画

1. 基本的事項

法人名	社会福祉法人 小笠原村社会福祉協議会		法人番号	656				
法人代表者氏名	菊池 聡彦							
法人の主たる所在地	東京都小笠原村父島字奥村							
連絡先	04998-2-2486							
地域住民その他の関係者への意見聴取年月日	平成29年 月 日							
公認会計士、税理士等の意見聴取年月日	平成29年 6月 8日							
評議員会の承認年月日	平成29年 6月12日							
会計年度別の社会福祉充実残額の推移 (単位：千円)	残額総額 (平成28年度末現在)	1か年度目 (平成29年度末現在)	2か年度目 (平成30年度末現在)	3か年度目 (平成31年度末現在)	4か年度目 (平成32年度末現在)	5か年度目 (平成33年度末現在)	合計	社会福祉充実事業未充当額
	1,430千円	1,130千円	830千円	530千円	230千円	0千円		0千円
うち社会福祉充実事業費(単位：千円)		▲286千円	▲286千円	▲286千円	▲286千円	▲286千円	▲1,430千円	
本計画の対象期間	平成29年7月1日～平成34年3月31日							

2. 事業計画

実施時期	事業名	事業種別	既存・新規の別	事業概要	施設整備の有無	事業費
1か年度目	職員育成事業	社会福祉事業	既存	職員の資質向上を図るため、研修費用及び出張旅費を補助する	無	286千円
						小計
2か年度目	職員育成事業	社会福祉事業	既存	職員の資質向上を図るため、研修費用及び出張旅費を補助する	無	286千円
						小計

3か年度目	職員育成事業	社会福祉事業	既存	職員の資質向上を図るため、研修費用及び出張旅費を補助する	無	286千円
	小計					286千円
4か年度目	職員育成事業	社会福祉事業	既存	職員の資質向上を図るため、研修費用及び出張旅費を補助する	無	286千円
	小計					286千円
5か年度目	職員育成事業	社会福祉事業	既存	職員の資質向上を図るため、研修費用及び出張旅費を補助する	無	286千円
	小計					286千円
合計						1,430千円

※ 欄が不足する場合は適宜追加すること。

3. 社会福祉充実残額の使途に関する検討結果

検討順	検討結果
① 社会福祉事業及び公益事業（小規模事業）	交通の便が悪い僻地離島に所在するため、研修を受けることは容易ではない。職員の資質向上は、地域福祉の向上に直結する。そのため積極的に資格取得・研修参加を促していくこととした。
② 地域公益事業	①の取組を実施する結果、残額は生じないため、実施はしない。
③ ①及び②以外の公益事業	同上

4. 資金計画

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	合計	
	計画の実施期間における事業費合計	286千円	286千円	286千円	286千円	286千円	1,430千円	
	財源構成	社会福祉充実残額	286千円	286千円	286千円	286千円	286千円	1,430千円
		補助金						
		借入金						
		事業収益						
		その他						

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「資金計画」を作成すること。

5. 事業の詳細

事業名	職員育成事業	
主な対象者	当法人に在籍する常勤職員	
想定される対象者数	10名	
事業の実施地域	—	
事業の実施時期	平成29年7月1日～平成34年3月31日	
事業内容	職員の資質向上を図るため、研修費用及び出張旅費を補助する	
事業の実施スケジュール	1か年度目	職員2名を対象に費用助成を実施。
	2か年度目	職員2名を対象に費用助成を実施。
	3か年度目	職員2名を対象に費用助成を実施。
	4か年度目	職員2名を対象に費用助成を実施。
	5か年度目	職員2名を対象に費用助成を実施。
事業費積算 (概算)	143千円×職員2名(単年度)×5か年=1,430千円	
	合計	1,430千円(うち社会福祉充実残額充当額1,430千円)
地域協議会等の意見と その反映状況	—	

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「事業の詳細」を作成すること。

6. 社会福祉充実残額の全額を活用しない又は計画の実施期間が5か年度を超える理由

--